

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年1月31日

事業所名：放課後等デイサービス ウィズ山越

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2	2	2	・他事業所に比べると狭いと思うがその中で色々と提供している。 ・個室等のクールダウンする落ち着ける場所が欲しい。	14	2	1	3	・工夫はしてくれていると思う ・うちの子には十分すぎないスペース がちょうどよい	・スペースは定員に対して十分余裕ありとまでは言えないがパーテーションを活用したり、活動内容に工夫を図り 公園と併用しながら活動の幅を広げていく。
	2 職員の適切な配置	3	3		・児童数が多い時には手薄に感じる時がある。 ・パートの方が来てくれて子供達に手を掛け易くなった。	18	1		1		・ホームページのスタッフ紹介欄にて職務、資格等を明記し利用者に分かるように公表する。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	1	3	1	・教室は段差がなく、トイレにも手摺が付いていて安全。 ・衝立の仕切りなので視覚、聴覚共に周囲からの刺激を受けやすい。	16	1		3		・車椅子対応は難しいが、可能な限り段差を無くし、危険と思われる個所には衝緩材を取り付けている。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	2		・掃除は毎日行っているので清潔だと思う。 ・床を新しいマットに代えて安全になった。	18	1		1		・訓練室の毎日の清掃はもとより、送迎車の車内清掃も随時行い清潔に保つ。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	2	4		・問題点が見つかった時には速やかに改善策を決め実行評価している。 ・カンファレンスで挙げても直に解決策が見つからない時がある。						・事業所内での意思の疎通を積極的に図り、情報共有も様々なツールを用いて抜かりないように努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	2	1	3	・是非 第三者の客観的な外部評価、指導を受けてみたい。						・療育や活動内容、記録等が偏らないように発達障害支援センター等の専門機関からの助言・評価を頂く。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	1	3	1	・研修会には積極的に参加しているが参加者に偏りがあると思う。 ・社内外の研修の機会が少ない。						・日々の業務に忙殺されることなく計画的な研修参加と意識高揚の為に全職員に研修機会を持てる様サポートする。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	3	3		・主観的な部分が見られるかもしれない。	20					・綿密にアセスメントを行い、計画を作成していく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	4	2		・項目の設定や支援内容の記載は出来ているが項目が少ないと思うので来年度から項目を増やしたい。 ・計画をしっかりと立てているがガイドラインは理解し辛い。	20					・支援目標の項目が少ないと思われるので、来年度から項目を増やしていく。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	4	2		・モニタリング会議等で職員同士で意見を出し合うことが出来ている。 ・個別指導、SSTを実施しているが事前に良く計画を立てたものの、実効性が十分でないことがある。						・継続してモニタリング会議を行い、計画の作成を行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3										
	4	2	3	1	・小学校に関しては様々な連携 情報共有をアプローチしてはいるが学校により温度差が大きいに思われる。 ・それ以外の保育所等との情報共有のスキームは未構築である。						・発達障害児童のシームレスな支援を保証するため、就学前の支援内容について理解し また学校との役割分担と協力関係を明確にし 連携を積極的に図っていく。
	5	2	3	1	・当事業所と併用されたり、他事業所をお勧めしたりする場合には出来得る限りの情報提供は行っている。						・他事業所には発達支援上の必要性が有れば、保護者の了解を得たうえで併行利用も考慮し積極的に情報提供をしていく。
	6	1	4	1	・主に特定の人が代表して研修に参加して事後に事業所内で周知しているが、全ての職員がいける環境作りは出来ないか？						・各専門機関とは密に連絡・情報共有を図るとともに様々な研修にも積極的な参加をしていく。
	7	3	3		・児童館を利用する機会は設けている。 ・近くの公園で地域の子供と関わる機会はあるがより積極的な活動が推進できると良い。	8	7		5	・どれ位の頻度かは知らないが児童館へはよく行っているようです。	・近隣の公園での地域児童との遊びを通じた関りが持てている、又出かけ先の児童館でもより一層交流を心掛けていく。 ・上記交流がご父兄に認知されるべく連絡ツール等にて周知発信に努めていく。
	8		1	5	・今のところ地域住民を招待するような行事は無い。						・将来 地域の方々が発達障害児童への理解と親しみを持っていただけるようなイベントを実施したい。
	1	5	1		・丁寧な説明には心掛けているがキチンと理解していただけているかは分からない。	20					・契約時は言うに及ばず ご父兄には適時、丁寧な説明を心掛けていく。
	2	6			・個別支援計画は必ず保護者様に面会して確認していただきご理解頂けるように説明を行っている。	18	2				・従来に増して保護者に支援内容の丁寧な説明を心掛けていく。
保護者への説明責任・連携支援	3		3	3	・ペアレントトレーニング支援は殆んど行えていないように思う。 ・特に気になるご家庭については助言や情報提供を行うこともあるが 全体としては対応力の向上に資するようなトレーニングは行えていない。	12	4	1	3	・どちらかといえば他でカウンセラーと話しをしている。	・ペアレントトレーニング研修を積極的に行い、保護者と共通理解を持ち 環境整備等の支援を行う。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見		
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	4	2	・状況はお伝えしているが共通理解まで至っているかは分からない。 ・ご家庭により温度差があるように思われる。 ・送迎時に当日の様子をお伝えするとともに家庭での様子についても伺いするようにしている。	17	2		1		・日々の情報発受信ツールとしての連絡帳の保護者確認を都度 積極的に促して共通理解を深める。 ・自宅への送り時にお声かけをしてコミュニケーションのきっかけ作りに努める。		
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	3	2	1	・内容により適時に必要な助言や支援が行えている場合もそうでない場合もある。	19	1		・学期に一度くらいのペースで面談が有れば良いと思う。	・待ちの姿勢ではなくあらゆる機会をとらえて悩み事相談や新たな支援情報等を速やかにお伝えして保護者に寄り添う姿勢を持つ様心掛ける。 ・年二回の面談を期限内に実施していく。		
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	1	3	2	・事業所の夏祭りの機会に保護者様同士、保護者と事業所職員とのコミュニケーションの場が設けられたが今後も継続して開催したいと思う。 ・これからも時間の許す限り頻度を上げて連携機会を増やしてゆきたい。	10	8	1	1	・年に何回か保護者会が有るとよいと思う。 ・今年になって初めて保護者の方々とお話ししました、もっと機会があればよいと思います。	・年二回程度 親子参加型の行事を企画し保護者同士の連携支援の場としたい。	
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	4	1		・出来る限りは対応しているが十分かどうか、タイムリーに対応できているかは まだ改善の余地があると思う。	14	2		4		・保護者には重ねて苦情窓口である担当者を周知し、速やかに必要な措置を講じる。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	4	2		・それぞれの利用者によって認識にバラツキが有り一律に意思の疎通が行き届いているとは云えないのが正直なところである。	17	2				・それぞれの保護者に合った適切な情報伝達に配慮する。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	6			・ほぼ発信出来ていると思う。 ・ウィズ新聞やブログをこまめに配布、更新してゆきたいと思う。	16	2			・日々忙しいとは思いますがブログ更新はもっとあると嬉しいです。 ・ブログを楽しみに読んでいます。	・年に数回の手作りの新聞発刊やブログにて情報発信しているが時間の許す限りその頻度を上げていく。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	4	2		・写真撮影や固有名の取り扱いには注意している。	19	1				・従来より注意は払っているが、なお一層の配慮をする。	
	非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	2	2	2	・感染症についても職員全体が情報共有して細心の注意を払う必要がある。 ・職員は言うまでもなくご父兄への発信も積極的に行う必要がある。	18	2				・各マニュアルは策定し、それに沿った訓練等は実施しているが職員、保護者へのより一層の周知活動が必要と思われる。
		2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	4	2		・年に二回は最低行っているが十分な習慣付けには至っていないので各事象ごとに訓練を増やすべきだと思う。	14	1			・避難訓練はいつ行われているのか教えてください。	・訓練の内容や頻度の見直しをし また保護者へはその内容を会報等により発信していく。
	非常時等の対応（続き）	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応		3	3	・職員間で意識しあってはいるが研修の経験が無く、今後は研修プログラムも取り入れてほしい。						・研修プログラム導入や各マニュアルの読み込みを徹底し、その意識を高めていく。
4		やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	3	2	1	・組織的な決定基準はあるが、改めて児童、保護者への事前説明、ひいては各計画への記載も進めてゆきたいと思う。						・契約時は言うに及ばず記録作成、実施についての事業所内ルールの策定、保護者への説明や報告のフォームを作成しそれに沿った対応行動をする。	
5		食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	2	2	2	・個別の利用契約時にお伺いはしているが明確なフェイスシート記載を実施し職員が共有するべきである。						・年次にフェイスシートを更新し 常に新しい情報把握しておく。	
6		ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	4		2	・ヒヤリハットの記録は取っているがともすれば抜けてしまっているケースもあるように思う。 ・記録を参考に常に危険予知に努めるべく職員に周知する必要がある。						・記録フォーマットをより簡潔にし事象が起きた場合は速やかに記録に残し その原因究明と対応策の検討、全職員の注意喚起・周知を行う。	